

LAN-TST5

この度は、PoE LANケーブルテスター「LAN-TST5」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったらあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- | | | |
|----------------------|---------------------------|--------------------------|
| ① マスターユニット …… 1台 | ④ 10BASE-2ケーブル …… 2本 | ⑦ RJ-45コネクタキャップ …… 2個 |
| ② リモートユニット …… 1台 | ⑤ BNCコネクタ …… 1個 | ⑧ 006P 9V乾電池(テスト用) …… 1本 |
| ③ 10BASE-Tケーブル …… 1本 | ⑥ RJ-45-RJ-11変換アダプタ …… 2個 | ⑨ 収納ケース …… 1個 |
- ※欠品や破損があった場合は、品番(LAN-TST5)と上記の番号(①～⑩)と名称(収納ケースなど)をお知らせください。
- ⑩ 取扱説明書・保証書(本書) …… 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

1. 特長

- PoEの有無を数秒で確認できます。
- 電圧が12-36または45-78のどちらで給電されているかを判断し、PoEのタイプを調べることができます。
- IEEE802.3af規格に準拠しています。
- 10BASE-T・10BASE-2のイーサネットケーブルやRJ-11モジュラーケーブル、258A TIA-568A/568B、トークンリングケーブルなどのテストができます。
- ケーブルの導通・断線・結線ミスやグラントの有無を調べることができます。
- リモートユニット(子機)を使用することで敷設済みのケーブルも簡単にチェックできます。
- 自動・手動スキャンの両方に対応しています。

2. 仕様

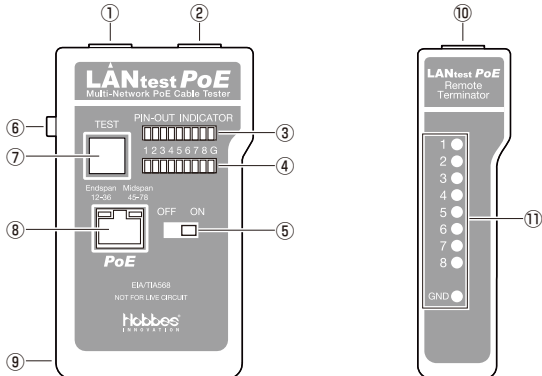
対応ケーブル	UTP-STPケーブル(RJ-45コネクタ) 10BASE2ケーブル(BNCコネクタ) モジュラーケーブル(RJ-11コネクタ) トークンリングケーブル(RJ-45コネクタ)
電 源	006P 9V乾電池×1個(テスト用付属)

3. 各部名称

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ① RJ-45ジャック(送信側) | ⑩ RJ-45ジャック(リモート・受信側) |
| ② RJ-45ジャック(マスター・受信側) | ⑪ インジケータ(リモート・受信側) |
| ③ インジケータ(送信側) | |
| ④ インジケータ(マスター・受信側) | |
| ⑤ 電源スイッチ | |
| ⑥ テストモード切替スイッチ | |
| ⑦ マニュアルテストボタン | |
| ⑧ PoEテスト用 RJ45ジャック | |
| ⑨ 電池蓋(背面) | |

マスターユニット(親機)

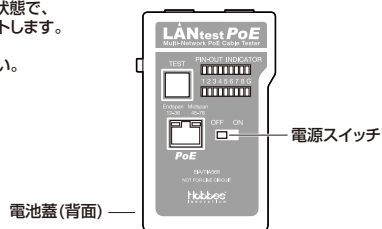
リモートユニット(子機)



4. 電池のセット

マスターユニットの電源スイッチをOFFにした状態で、背面の電池蓋を開け、006P 9V乾電池をセットします。

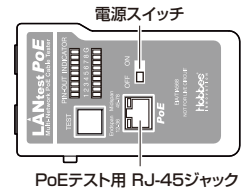
※+の極性を間違えないようにご注意ください。



5. 検査手順

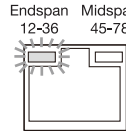
■PoEのテスト

- ①マスターユニットのPoEテスト用 RJ-45ジャックとPoE対応機器をPoE対応のケーブルで接続します。

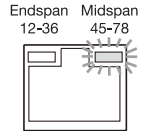


PoEテスト用 RJ-45ジャック

- ②PoE規格の電圧(DC48V)を感知すると、数秒後にPoEテスト用 RJ-45ジャックのLEDが点灯します。12-36または45-78のいずれかを判別し表示します。
※規格外の電圧(DC24V以上)を感知すると、すぐにLEDが点滅します。



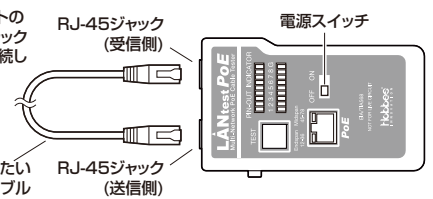
電圧が12-36に給電されている場合



電圧が45-78に給電されている場合

■ループバックテスト(10BASE-T)

- ①電源がOFFの状態で、マスターユニットのRJ-45ジャック(送信側)とRJ-45ジャック(受信側)を10BASE-Tケーブルで接続します。



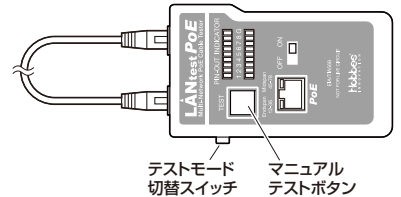
- ②電源スイッチをONにします。

結線状態を確認したい
10BASE-Tケーブル

- ③テストモード切替スイッチで「AUTO」もしくは「MANUAL」のどちらかに設定します。

「AUTO」 …… 自動的にインジケータの左側から順に検査を開始します。

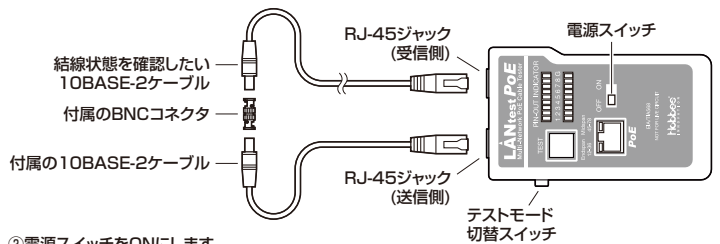
「MANUAL」 …… インジケータ(送信側)の1(左端)と対応するインジケータ(受信側)が点灯します。
マニュアルテストボタンを押し、インジケータ(送信側)を切替えて確認します。



- ④インジケータ(送信側)の番号と、それに対応したインジケータ(受信側)が同時に点灯します。
インジケータの点灯が正常かどうか、後述の7.テスト結果の読み方でご確認ください。

■ループバックテスト(10BASE-2)

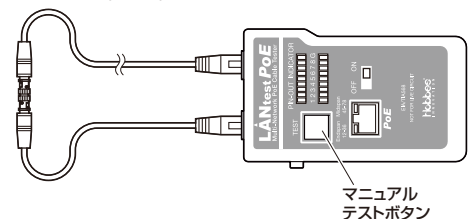
- ①電源がOFFの状態で、マスターユニットのRJ-45ジャック(送信側)とRJ-45ジャック(受信側)を下図のように10BASE-2ケーブルで接続します。



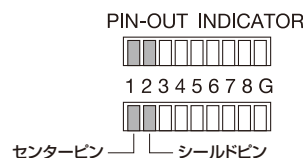
- ②電源スイッチをONにします。

- ③テストモード切替スイッチで「MANUAL」に設定します。

- ④インジケータ(送信側)の1(左端)と対応するインジケータ(受信側)が点灯します。
マニュアルテストボタンを押し、インジケータ(送信側)を切替えて確認します。



- ⑤ピンの状態が下記のように表示されます。
※10BASE-2は2本のみ結線されています。

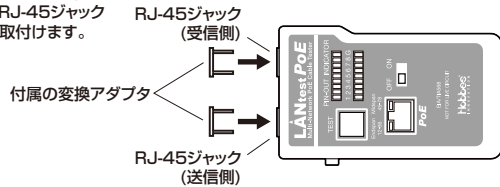


センターピン シールドピン

5.検査手順(続き)

■ループバックテスト(モジュラーケーブル)

- ①電源がOFFの状態で、マスターユニットのRJ-45ジャック(送信側)とRJ-45ジャック(受信側)に変換アダプタを取付けます。



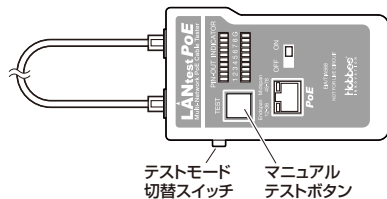
- ②マスターユニットのRJ-45ジャック(送信側)とRJ-45ジャック(受信側)をモジュラーケーブルで接続します。

- ③電源スイッチをONにします。

結線状態を確認したい
モジュラーケーブル

- ④テストモード切替スイッチで「AUTO」もしくは「MANUAL」のどちらかに設定します。
「AUTO」……… 自動的にインジケータの左側から順に検査を開始します。

「MANUAL」… インジケータ(送信側)の1(左端)と対応するインジケータ(受信側)が点灯します。
マニュアルテストボタンを押し、インジケータ(送信側)を切替えて確認します。

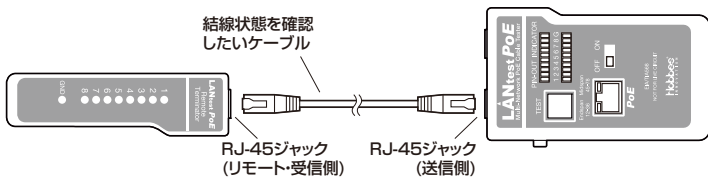


- ⑤ケーブルの状態が下記のように表示されます。
※RJ-45とRJ-11では表示される位置が異なります。



6.リモートテスト

RJ-45(マスター・受信側)の替わりにRJ-45(リモート・受信側)に接続することで、敷設済みのケーブルをテストすることができます。



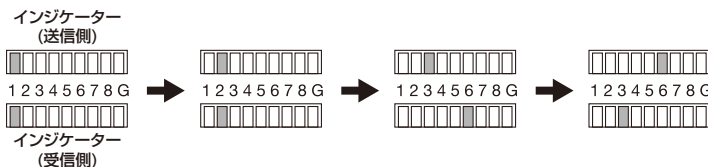
7.テスト結果の読み方

基本的な動作

下記のような結線図の場合



テストモードが「AUTO」の場合は下記の順に自動的に切り替っていきます。
「MANUAL」の場合はマニュアルテストボタンを押すごに切り替っていきます。
※インジケータの点灯は1番から始まらない場合がありますが、そのままチェックを行ってください。

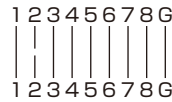


7.テスト結果の読み方(続き)

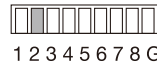
ケーブルに障害がある場合

断線 している場合、インジケータ(受信側)が点灯しません。

2番の芯線が断線している場合



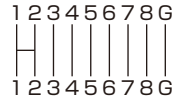
インジケータ
(送信側)



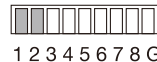
インジケータ
(受信側)

ショート している場合、インジケータが複数点灯します。

1番と2番がショートしている場合



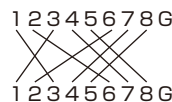
インジケータ
(送信側)



インジケータ
(受信側)

ケーブル形状が特殊な場合

クロスケーブル の場合、インジケータ(受信側)は、3→6→1→7→8→2→4→5の順に点滅します。



インジケータ
(送信側)



インジケータ
(受信側)

STPケーブル の場合、シールド部分が導通していると点灯します。

※Gはグラウンド(アース)の略です。

インジケータ
(送信側)



インジケータ
(受信側)

8.保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 譲渡や中古販売・オークション・転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書

サンワサプライ株式会社

型番	LAN-TST5	シリアルナンバー
お客様	ご住所・お名前	
販売店	販売店名・住所・TEL	担当者名
保証期間	ご購入日から6ヶ月	ご購入日： 年 月 日

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL086-223-3311 FAX086-223-5123
東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL03-5763-0011 FAX03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL011-611-3450 FAX011-718-8990
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 TM仙台ビル TEL022-257-4638 FAX022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-16-18 CUBE MEIEIKI TEL052-453-2031 FAX052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36 ONEST新大阪スクエア TEL06-6395-5310 FAX06-6395-5315
広島営業所 / 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町7-18 新井ビル TEL082-264-2716 FAX082-264-2717
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八百治ビル TEL092-471-6721 FAX092-471-8078

CF/AF/NSDaU